

平成30年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（都道府県分）

都道府県名 福井県

事業名	福井県 総合的な結婚支援事業		所要見込額	11,248 千円
実施期間	交付決定日 ~ 平成31年3月31日			
地域の実情と課題 (これまでの都道府県における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述)	<p>福井県においては、国の少子化対策集中取組期間（平成27年度～平成31年度）に合わせ、県としての少子化対策を「第三次福井県元気な子ども・子育て応援計画」として取りまとめており、特に若い世代が安心して結婚し、子どもを生み育てることができるふるさとの実現を目指している。福井県では、平成6年度から結婚相談事業を開始し、平成22年度からは結婚応援ボランティア「地域の縁結びさん」の登録と活動支援、婚活応援ポータルサイト「ふくい婚活カフェ」による情報発信も開始するなど、全国に先駆けて結婚を希望する独身者を支援してきた。また、平成27年度からは職場を通じた結婚支援を本格的に開始したほか、若い世代が結婚を含めたライフプランについて考える機会を提供するキャンペーンも行っている。</p> <p>しかし、県内の30～34歳の未婚率は、全国平均より低いものの男性43.0%、女性28.3%（平成27年）と30年間で男性は約2倍、女性は約6倍になっており、平均初婚年齢も男性30.5歳、女性28.9歳（平成28年）と30年間で男女とも3～4歳上昇している。未婚者の意識調査（平成26年）では、5年前の結果に比べ「できるだけ早く結婚したい」との回答が減って「いずれは結婚したい」が増えており、独身の理由として、「今は自分の趣味や娯楽を楽しみたい」「独身の自由さや気楽さを失いたくない」との回答が3割を超え、前回の調査を上回っていることから、結婚への意識の希薄化が伺える。また、独身である理由のうち、最も多い回答は、前回と同じく「まだ適当な相手にめぐり会っていない」であった。</p> <p>このため、若い世代のニーズに合った出会いの場のさらなる創出や、結婚・出産を含めたライフプランを考える機会の提供を進め、さらには、社会全体で若い世代の結婚を応援する機運を高めていくなど、結婚を希望する若者の後押しが必要である。</p>			
都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け	<p>「第三次福井県元気な子ども・子育て応援計画」においては、つながりの力を活かした男女の出会いや出産による新たな命との出会いといった多くの出会いがあふれる福井県をめざすこと、また、家族がともに子育てを行い、企業、民間団体、住民など、地域が一体となって支え合うことにより、子育ての幸せが感じられる社会環境を実現することを基本方針としている。この基本方針のもと、次の4つの項目を重点施策として展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「つながりの力」を活かした縁結びの推進 2. 職場も出産・子育てを応援 3. 家庭や地域の支えにより楽しく子育て 4. 子どもの成長を支える幼児教育・保育の充実 <p>本事業のうち結婚支援に係るものについては、上記重点課題の1. に位置づけられる。</p>			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	<p>「第三次福井県元気な子ども・子育て応援計画」の数値目標は、別添のとおりとなっている。本事業については、「第三次福井県元気な子ども・子育て応援計画」の数値目標とあわせ、</p> <p>・ 県の結婚応援事業をきっかけとする婚姻件数 200件(平成31年度) とする。</p>			
参考指標	<p>※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等 婚姻数:3,453件(平成28年) 婚姻率:4.5(平成28年) 出生数:6,112人(平成28年) 出生率:7.9(平成28年) 合計特殊出生率:1.65(平成28年)</p>			
事業内容	1 優良事例の横展開支援事業		所要見込額	11,248 千円
	(1) 結婚に対する取組		所要見込額	11,248 千円
	個別事業名	地域の縁結び活動応援事業	所要見込額	6,581 千円
	個別事業名	ふくい結婚応援企業 企業間交流加速化事業	所要見込額	2,787 千円
	個別事業名	再婚応援事業	所要見込額	1,095 千円
	個別事業名	独身者対象「ふくい縁結び学校」開催事業	所要見込額	785 千円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組		所要見込額	千円
2 結婚新生活支援事業		所要見込額	千円	
上記「事業内容」の「1」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無	「有」とした場合の事業名		